

172 ユダ、裏切りを企てる、過越しの食事を準備させる

マタイによる福音書 26 : 14~16、マルコ 14 : 10~11、ルカ 22 : 3~6

ルカによる福音書 22 : 7~13、マタイ 26 : 17~25、マルコ 14 : 12~21、ヨハネ 13 : 21~30

▶ユダ、裏切りを企てる (マタイによる福音書 26 : 14~16)

14 そのとき、十二人の一人で、イスカリオテのユダという者が、(イエスや弟子たちとの最後の晩餐を離れ) 祭司長たちのところへ行き、

15 「あの男をあなたたちに引き渡せば、幾らくれますか」と言った。そこで、彼らは(神殿の献金の中から) 銀貨三十枚を支払うことにした。

→サタンのユダへの介入(ルカとヨハネでは日時が異なるが、それよりもサタンがユダの金を神とする心を突かれたということがポイントである)

1. ルカによる福音書 22 : 3 (最後の晩餐の前)

しかし、十二人の中の一人で、イスカリオテと呼ばれるユダの中に、サタンが入った。

2. ヨハネによる福音書 13 : 27 (最後の晩餐の時)

ユダがパン切れを受け取ると、サタンが彼の中に入った。そこでイエスは、「しようとしていることを、今すぐ、しなさい」と彼に言われた。

→出エジプト記 21 : 32

もし、牛が男奴隷あるいは女奴隷を突い(て殺してしまった)た場合は、(その奴隷の命の弁済金として) 銀三十シケルをその主人に支払い、その牛は石で打ち殺されねばならない。

→奴隷の命=銀三十シケル→ユダヤ社会では、銀貨 30 枚は軽蔑の象徴(30 は忌むべき数字)

→銀三十シケル≒銀 : 約 100 円/g × 約 11.4 g/シケル × 30 シケル ≒ 34,200 円 (参考値)

→ゼカリヤ書 11 : 12~13

わたしは彼らに言った。「もし、お前たちの目に良しとするなら、わたしに賃金を支払え。そうでなければ、支払わなくてもよい。」彼らは銀三十シケルを量り、わたしに賃金としてくれた(→差別的、侮辱的な事であるが、当時、銀 30 シケルは良き羊飼いに支払われた金額で、銀 30 シケルをもらうなら、まだ無給の方がマシとされた)。主はわたしに言われた。「それを鋳物師に投げ与えよ。わたしが彼らによって値をつけられた見事な金額を(→皮肉表現)。」わたしはその銀三十シケルを取って、主の神殿で鋳物師(→当時、最下層の仕事とされた)に投げ与えた。

↓ ゼカリヤの預言の成就

そこで、ユダは銀貨を神殿に投げ込んで立ち去り、首をつって死んだ(マタイ 27 : 5)。

16 そのときから、ユダはイエスを引き渡そうと、良い機会をねらっていた。

【参考】イスカリオテのユダ Judas Iscariot イスカリオテ出身

イエスはイスカリオテ(→ケリオテ出身の男の意味、もしくはうそつきの男、裏切り者の意味)のユダを愛し、信頼してお金を任せ(財務担当)。しかしユダは、食欲に走って歴史上の裏切り者となった。イエスは、彼の裏切り行為を知って、「わたしと一緒に手で鉢に食べ物を浸した者が、わたしを裏切る。人の子は、聖書に書いてあるとおりに、去って行く。だが、人の子を裏切るその者は不幸だ。生まれなかった方が、その者のためによかった。」(マタイによる福音書 26 : 23、24)ときびしく戒めている。最後にイエスはゲツセマネで、「友よ、しようとしていることをするがよい」(マタイによる福音書 26 : 50)とユダに告げた。イエスは彼を友と語りかけて赦している。イエスを銀貨 30 枚で売り渡したユダは、イエスに死刑判決が下ったことを知って後悔した。「わたしは罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました」(マタイによる福音書 27 : 4)と言って大祭司カイアファに銀貨を返そうとしたが、ユダヤ教の祭司たちは拒絶した。ユダは銀貨を神殿に投げ込んで立ち去り、自殺した。

▶過越しの食事を準備させる（ルカによる福音書 22：7～13）

・・・・・・ニサンの月の14日（木曜日）の出来事である・・・・・・

07 過越しの小羊を屠るべき除酵祭の日が来た。

→木曜日：食事の準備の日

金曜日：過越し祭の当日

イエス・キリストの十字架（磔刑）



08 イエスはペトロとヨハネとをを使いに出そうとして、

「行って過越しの食事ができるように準備しなさい」と言われた。

09 二人（→ペトロとヨハネ）が、「どこに用意いたしましょうか」と言うのと、

10 イエスは言われた。

「都に入ると、(水がめを運ぶ女ではなく) **水がめを運んでいる男** (→召し使い) に出会う。その人が入る家までついて行き、11 家の主人にはこう言いなさい。『先生が、「弟子たちと一緒に過越しの食事をする部屋(客間=カタリユマ kataluma：ギリシア語)はどこか」(マタイ 26：18c 「わたしの時が近づいた。お宅で弟子たちと一緒に過越しの食事をする」) とあなたに言っています。』

12 すると、席の整った二階の (大きな) 広間を見せてくれるから、そこに準備をしておきなさい。」

→裕福な家には、二階に広間 (アノゲオン anogeon：ギリシア語) があつた。

三階建の家の場合＝一階：カタリユマ (仕事と休息)、二階：パイドケイオン (応接の部屋)、

三階：アノゲオン (or アナガイオン) (家の中で最も私的な最もよい部屋)

13 二人（→ペトロとヨハネ）が行ってみると、イエスが言われたとおりだったので、過越しの食事を準備した。

【参考】イスラエルの祭り(レビ記 23 章)とメシアの生涯

太陽暦・ユダヤ暦・バビロニア暦

太陽暦	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月(ヘブライ暦)	第一の月	第二の月	第三の月	第四の月	第五の月	第六の月	第七の月	第八の月	第九の月	第十の月	第十一の月	第十二の月	
ユダヤ暦	ニサン Nisan, Nisan	イヤール Iyyar	シバン Sivan, Sivan	タムーズ Tammuz	アブ Abh, Av	エルール Elul	ティシュリ Tishri	マルヘシュバン Marcheswan	キスレーヴ Kislev, Kislev	テベト T'ebheth	シュバット Shvat	アダール Adhar, Adar	
バビロニアの月名 0: カナンの古称	ニサン (アビブ)	イヤール (ジウ)	シワン	タンムズ	アブ	エルル	ティシュリ (エタニム)	ヘシュワン (ブル)	キスレウ	テベト	シェバト	アダール	
主な行事	七週間		七週祭(シャブオット) 新月 II 五旬祭(ペンテコステ Pentecoste ギリシア語)				1: 新年 10: 大贖罪日 15~21: 仮庵祭(スコット) 満月		25: 宮清めの祭 (ハズカの祭り) (25日~8日間)				
	14~21 過越し祭(ベサハ) 満月 除酵祭		※ユダヤの三大祭: 過越し祭、七週祭、仮庵祭				①イエス・キリストが過越し祭の時に、子羊として十字架にかけられ、殺された。 ②三日目によみがえられた。→復活祭						

- ・ユダヤ暦は、日本の旧暦と同じく、月の満ち欠けを基準に月を決める方式(太陰太陽暦)です。
- ・ユダヤ暦は、一日が日没(夕方)に始まり、次の日の日没(夕方)に終わります。それは、聖書の創造の記事に「夕べがあり、朝があった」(創世記1:5他)と記されているからです。
- ・イスラエルでは普段の生活には、西暦も使っていますが、ユダヤ教の祝祭日や公式行事はユダヤ暦によって決められています。
- ・ユダヤ暦は天地創造を起点にして数えることになっており、西暦+3760年(西暦よりも3760年長い)となる。

春の祭り
 過越し祭：メシアの贖罪の死を予表している
 除酵祭(種なしのパンの祭り)：メシアの死によって私たちの罪が清められたことを象徴している
 初穂の祭り(安息日の翌日)：メシアの復活を象徴している
 七週祭(五旬節)：聖霊降臨を象徴している

秋の祭り
 ラッパの祭り：携挙を予表している
 大贖罪日(贖罪の日)：大苦難(患難)時代を予表している
 仮庵祭：千年王国を予表している

メシアの初臨の預言の枠組み ←
 メシアの再臨の預言の枠組み(未実現)

